

2021年度

県内景況・確報

◎概況

県内景況は新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いており、持ち直しの動きに弱さがみられる。

●2021年度 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや悪い

個人消費



やや悪い

建設関連



ふつう

観光関連



悪い

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや悪い

2021年度の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベースで前年度を下回りました。既存店ベースは、4年連続で前年度を下回りました。百貨店売上高は、3年連続で前年度を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、2年連続で前年度を下回りました。新車販売台数は、3年連続で前年度を下回りました。

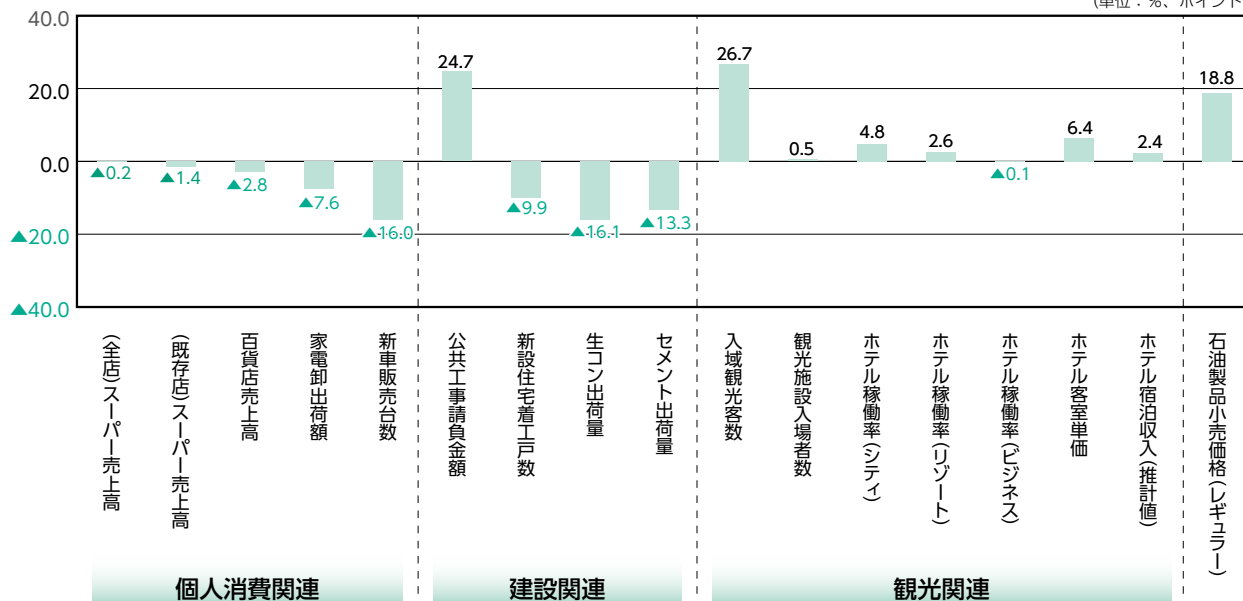
建設関連では、公共工事請負金額は2年ぶりに前年度を上回りました。新設住宅着工戸数は4年連続で前年度を下回り、建設資材である生コンは4年連続、セメントは2年連続で前年度を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は4年ぶりに前年度を上回り、観光施設入場者数も4年ぶりに前年度を上回りました。ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテルで前年度を上回り、ビジネスホテルで下回りました。ホテル客室単価は4年ぶりに前年度を上回り、宿泊収入（推計値）も4年ぶりに上回りました。しかし新型コロナウイルスの影響により、2019年度比では厳しい状況が続いています。

このような状況に鑑みて、**新型コロナウイルス感染症の影響等により、建設関連は弱含みがみられる中、個人消費では一部に弱さがみられ、観光関連では厳しい動きとなっていることなどから、「県内景況は新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いており、持ち直しの動きに弱さがみられる。」**と昨年度と同様に景気判断を据え置きました。

主要景気指標前年度比

(単位：％、ポイント)





個人消費



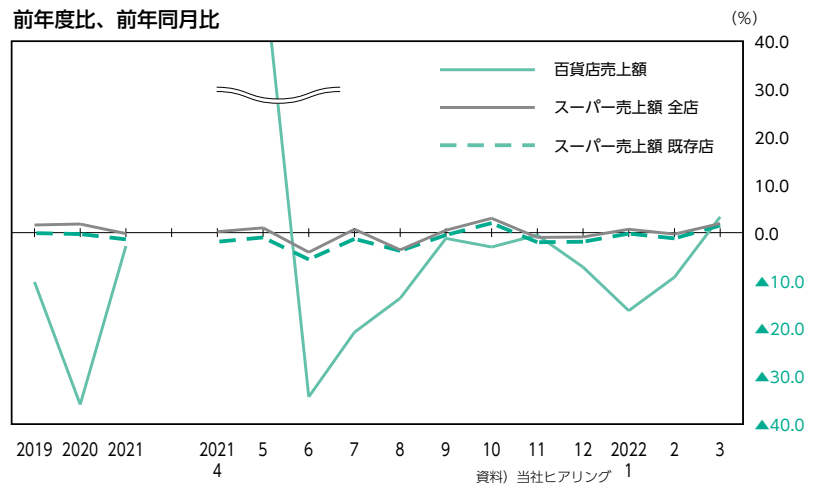
(やや悪い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年度を下回る。百貨店売上高は前年度を下回る。

2021年度の個人消費関連は、スーパー売上高が「全店ベース(前年比0.2%減)」は、新型コロナウイルスの影響による外出自粛や不要不急の買い物を控える動きなどにより前年度を下回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同0.4%増)」は、新規出店効果や内食需要の継続などにより前年度を上回りました。「衣料品(同7.7%減)」や家電を含む「家庭用品(同0.7%減)」は外出自粛や、緊急事態宣言発出に伴う休日の休業などにより前年度を下回りました。

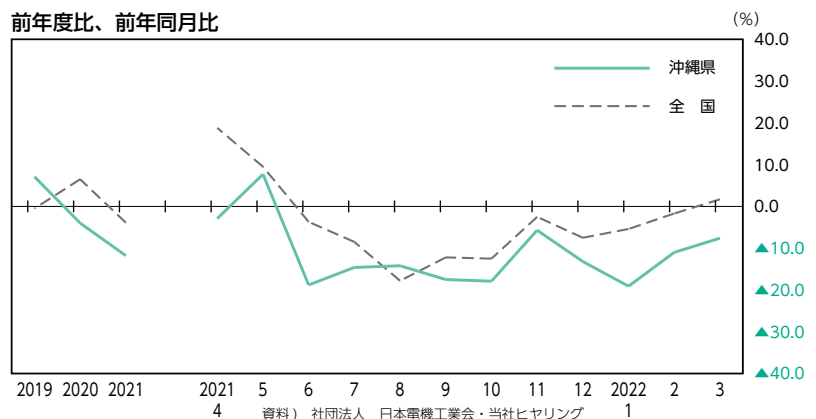
「**既存店ベース(同1.4%減)**」は、前年度を下回りました。(以下、既存店ベース)品目別では、ウェイトの高い「食料品(同0.5%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響による内食需要の継続があったものの、年明け以降の人流回復による外食の増加などにより前年度を下回りました。一方、「家庭用品(同3.3%減)」や「衣料品(同6.5%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による外出自粛や不要不急の買い物を控える動き、緊急事態宣言下における大型店舗の休日休業が見られたことなどから、前年度を下回りました。

百貨店売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による休業や来客数の減少などにより前年度を下回りました(同2.8%減)。内訳をみると、靴、バッグ等の「身の回り品(同1.3%減)」や「衣料品(同3.0%減)」は前年度を下回りました。化粧品を含む「雑貨(同25.8%減)」や「家庭用品(同20.4%減)」は、来客数の減少や一部テナント化による売り場面積の減少などから前年度を下回りました。ウェイトの高い「食料品(同11.1%増)」は、コロナ禍における内食需要の継続や年明け以降の催事開催などにより前年度を上回りました。

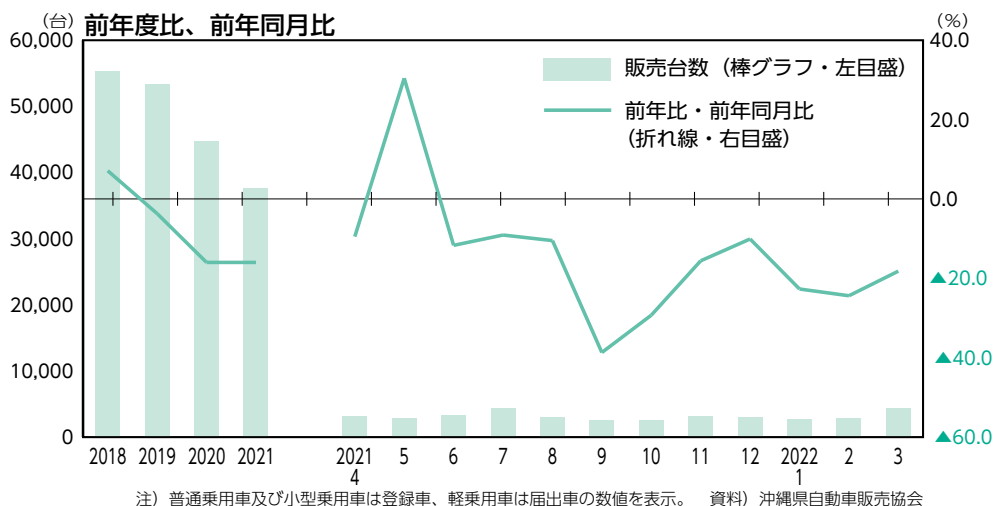


② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は、前年度を下回る。

家電卸出荷額は、前年度の定額給付金支給による需要増加の反動や半導体不足による供給制限などから前年度を下回りました(同11.8%減)。品目別では、「エアコン(同18.6%減)」、「冷蔵庫(同8.5%減)」、「洗濯機(同8.8%減)」、「テレビ(同1.5%減)」は、前年度を下回りました。業務用家電を含む「その他家電(同11.8%減)」は、工事関係の需要減少が継続していることなどから、前年度を下回りました。



③ 新車販売台数…新車販売台数は、前年度を下回る。



新車販売台数は、半導体の不足や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う海外の生産工場ロックダウンの影響などにより、全体で37,579台（同16.0%減）と、前年度を下回りました。車種別では、「普通乗用車（同11.7%減）」、「小型乗用車（同15.7%減）」、「軽乗用車（同19.8%減）」は、いずれも減少し、前年度を下回りました。

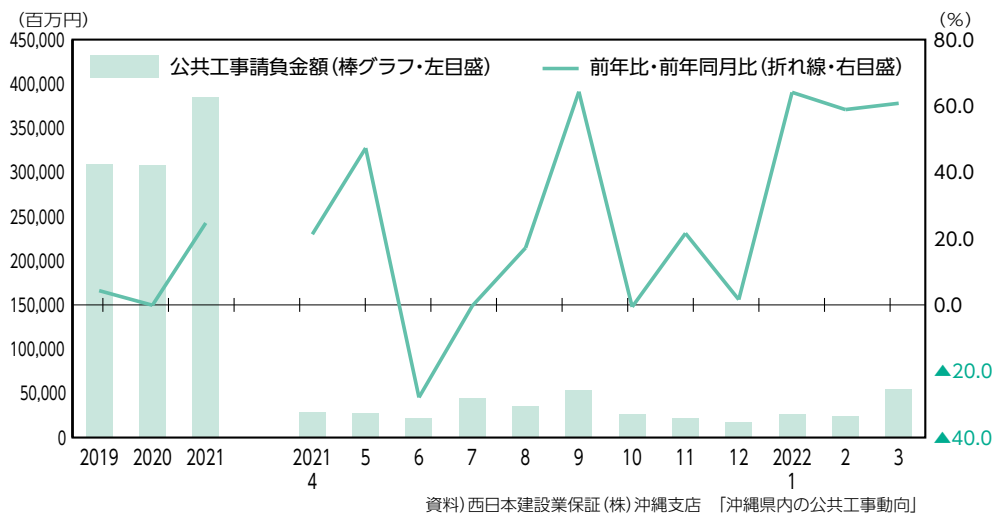
※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

建設関連



(ふつう)

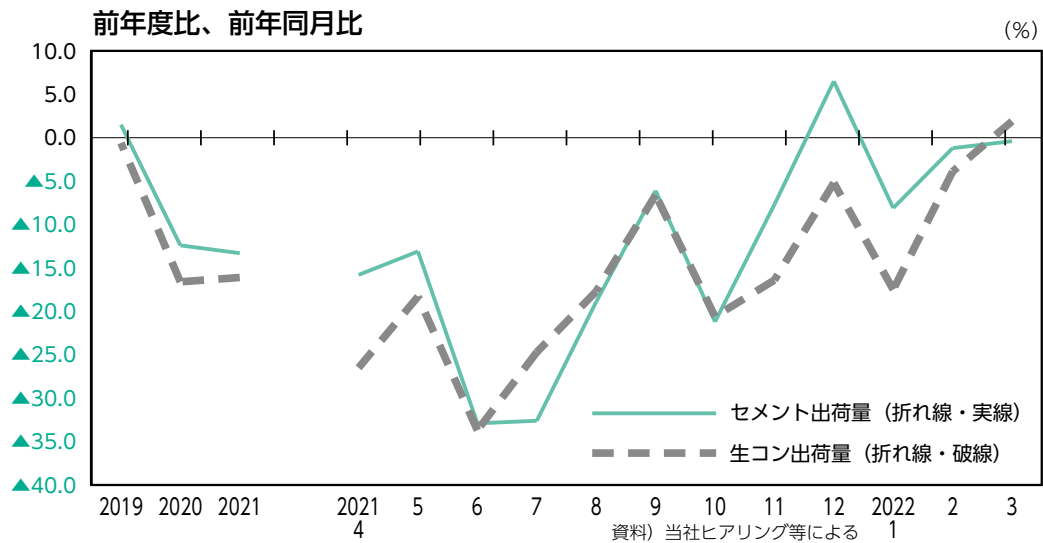
① 公共工事…公共工事請負金額は前年度を上回る。



2021年度の公共工事請負金額は、前年度比24.7%増の3,846億9,800万円となりました。発注者別で見ると、「国（同71.8%増）」、「独立行政法人等（同100.9%増）」、「その他の公共的団体（同10.0%増）」、「沖縄県（同1.0%増）」は前年度を上回りました。一方、「市町村（同4.8%減）」は前年度を下回りました。

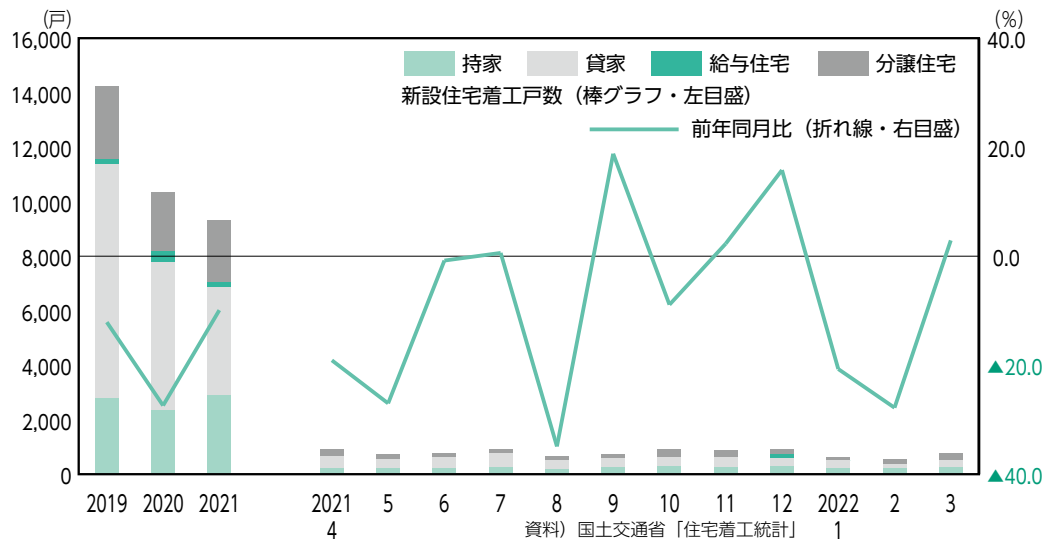


② 建設資材…生コン、セメントはともに前年度を下回る。



2021年度の新設住宅着工戸数では、**生コン**の出荷量は16.1%減と前年度を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷は前年度より21.0%下回り、民間工事向け出荷は13.3%下回りました。**セメント**出荷量は13.3%減と前年度を下回りました。

③ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年度を下回る。



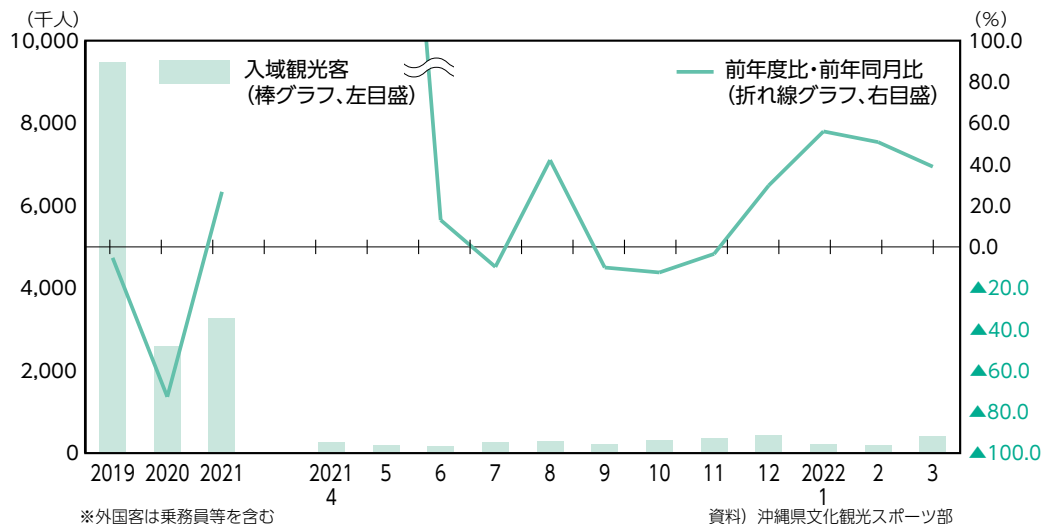
2021年度の新設住宅着工戸数は、全体で9,315戸となり9.9%減と前年度を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家 (同27.1%減)」のほか、「給与住宅 (同54.5%減)」は前年度を下回りました。一方、「持家 (同24.4%増)」や「分譲住宅 (同5.7%増)」は前年度を上回りました。

観光関連

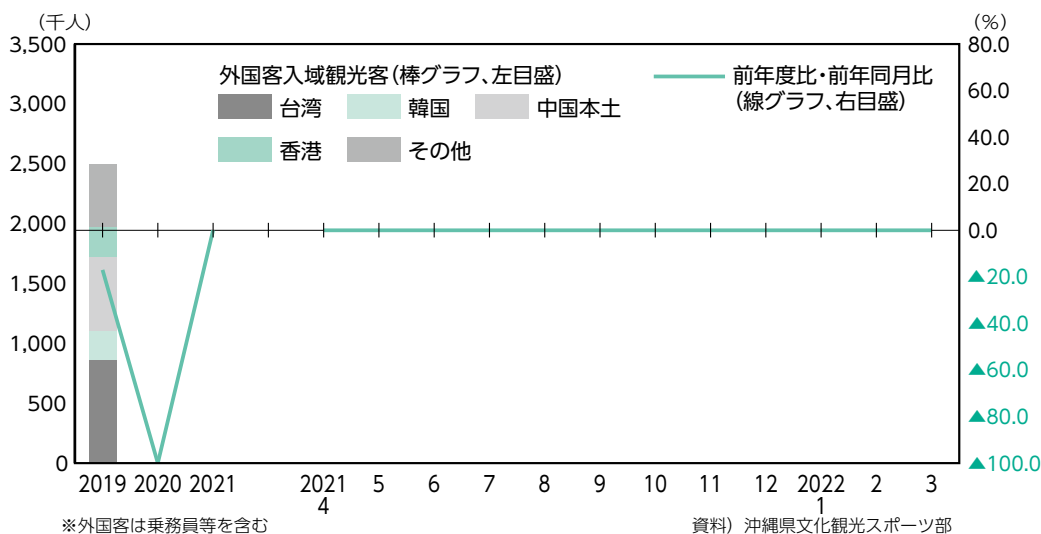


(悪い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年度を上回る。



外国客 入域観光客数…前年度同様、皆減となる。



2021年度の入域観光客数は、327.4万人（前年度比26.7%増）となり、前年度を上回りました。内訳をみると国内客は327.4万人（同26.7%増）と、新型コロナウイルス感染症の影響による旅行自粛が年度後半にかけて改善基調となり、前年度を上回りました。

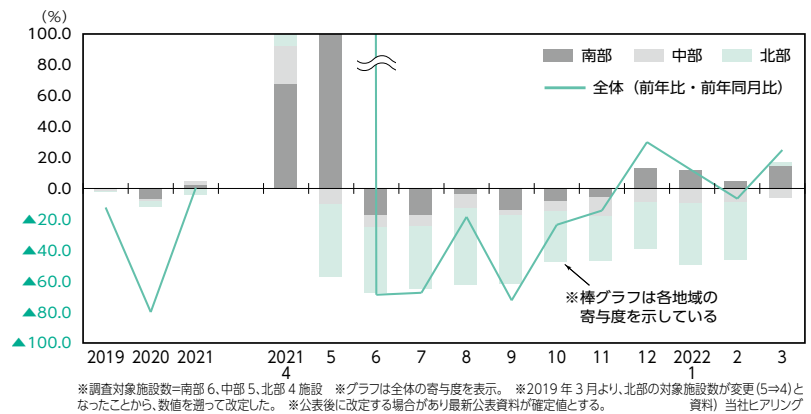
外国客は0人（同100.0%減）と2年連続で皆減となりました。新型コロナウイルス感染症の影響から、航空路線の運休やクルーズ船の運行停止、台湾、中国、香港、韓国を含む地域から日本への入国制限措置がとられたことにより皆減となりました。



② 観光施設入場者数…前年度を上回る。

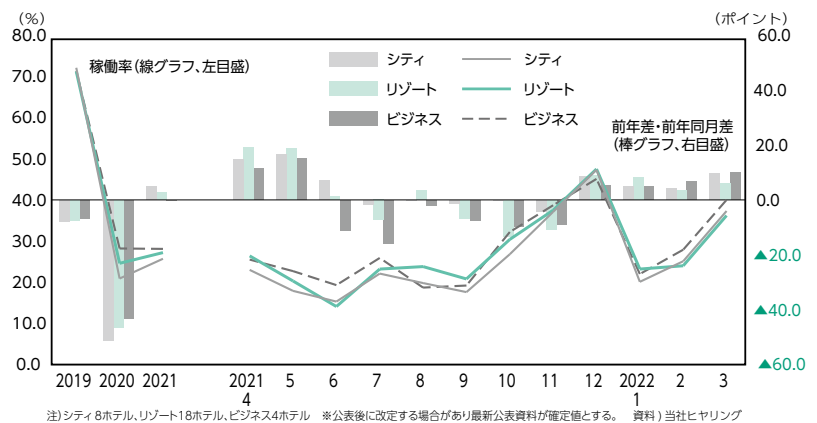
観光施設入場者数は、全体として前年度比0.5%増加し、前年度を上回りました。4月中旬からのまん延防止等重点措置、5月下旬から9月末までの緊急事態宣言の影響などから、前年度並みとなりました。

地域別では、南部にある観光施設が同9.0%増、中部が同22.8%増、北部が同7.2%減となりました。



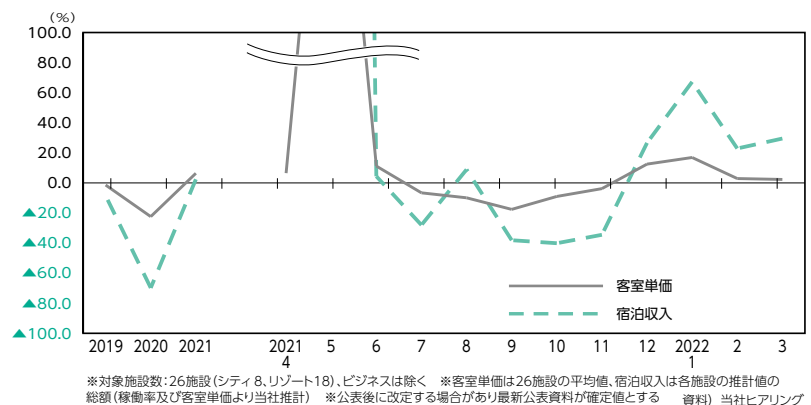
③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテルで前年度を上回り、ビジネスホテルで前年度を下回る。

2021年度の県内ホテル稼働率は、シティホテルが25.7%と前年度差4.8ポイント増加、リゾートホテルが27.2%と同2.6ポイント増加、ビジネスホテルが28.1%と同0.1ポイント減少しました。稼働率はすべてのホテルタイプにおいて、20%台後半に留まりました。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年度を上回り、宿泊収入も上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年度比6.4%増と前年度を上回り、**宿泊収入**も同2.4%増と前年度を上回りました。





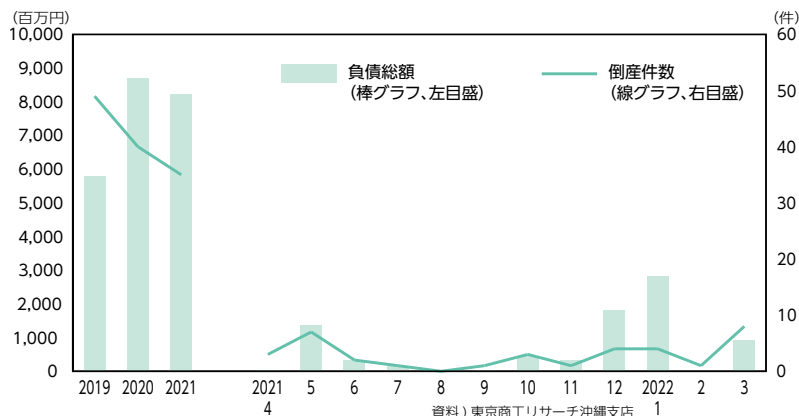
企業倒産



(やや良い)

企業倒産…件数、負債総額ともに前年度を下回る。

2021年度の企業倒産件数は、35件（うち大型倒産（負債総額10億円以上）は2件）となり、前年度より12.5%下回りました。**負債総額**は82億3,400万円となり、前年度より5.4%下回りました。



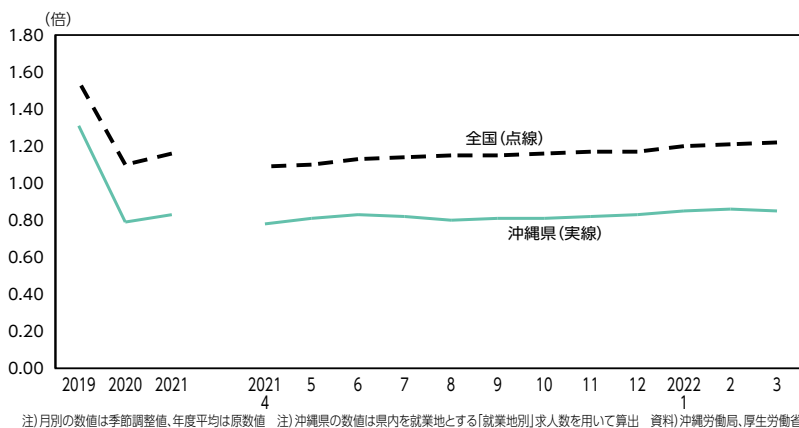
雇用関連



(やや悪い)

① 有効求人倍率…沖縄、全国はともに前年度より上昇。

2021年度の雇用状況は、月間有効求人数（年度平均）は前年度比11.7%増の25,751人に対して、月間有効求職者数（同上）は前年度比7.2%増の31,155人となり、**有効求人倍率（同上）**は0.83倍と、前年度より0.04ポイント上昇しました。



② 完全失業率…沖縄は前年度から横ばい、全国は低下。

2021年度の完全失業率（年度平均）は、3.6%となり前年度から横ばいとなりました。

